

令和 6 年度 研究サマリー

研究会名称	腎不全研究会	
代表者所属	筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学	
代表者氏名	山縣 邦弘	
研究方法・結果 本研究会は、腎不全の発症と進展の防止を前提とした腎不全病態の解明と新たな治療法の創出を目的として発足いたしました。腎不全の発症や進展のメカニズム、それを防止する治療法の研究、腎不全に伴う合併症の発症機序の解明と治療法の開発、新たな血液浄化療法の開発などが新しい角度から大いに進展することを企図いたしまして、尿毒症病態研究会、腎不全病態治療研究会として活動が続けてまいりました。さらに平成 22 年度より、これまで蓄積した基盤を引き継ぎ、更に発展させることを目的として腎不全研究会を設立し活動しております。 令和 6 年度は、和田健彦先生（虎の門病院腎センター内科）、西野友哉先生（長崎大学腎臓内科）を代表世話人として、第 14 回年次研究会を日比谷国際ビル コンファレンス スクエアにて開催いたしました。各セッションで非常に活発な討論が交わされました。 ＊プログラム ・指定講演「高カルシウム血症にひそむ稀な病態の解析とそこから見えてくる世界」 榎田 紀子 先生（東京大学大学院医学系研究科内分泌病態学） ・一般演題 19 題 うち、優秀演題賞として、最優秀演題賞 2 題、特別奨励賞 2 題を選出 ・ランチョンセミナー1 題、スポンサードセミナー1 題		
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）		